

【OCGJVが施工監理 ハノイ市環状3号線整備事業起工 高架道路建設への効果に期待】

ハノイ市環状3号線整備事業起工

OCGJVが施工監理

高架道路建設への効果に期待

成JVが担当する。事業区間の延長は5.4キロで、

日本の技術である回転圧入鋼管杭を用いた工法が採用されている。交通量が多く、道幅が狭い当該計画地区での高架道路建設への効果が期待されており、20年7月の竣工を目指している。



オリエンタルコンサルタンツグローバル(OCG)JVが施工監理業務を担当する、ベトナム社会主義共和国における「ハノイ市環状3号線整

備事業(マイジック南タンロン間)の起工式が9日、ハノイ市で執り行われた。写真。起工式には、ベトナム交通運輸省 Nguyen Van Co

ng 副大臣、在ベトナム日本大使館の中島義人参事官らが出席した。施工は、第1工区を三井住友・CIE NCO・4JVが、第2工区を東急・大